

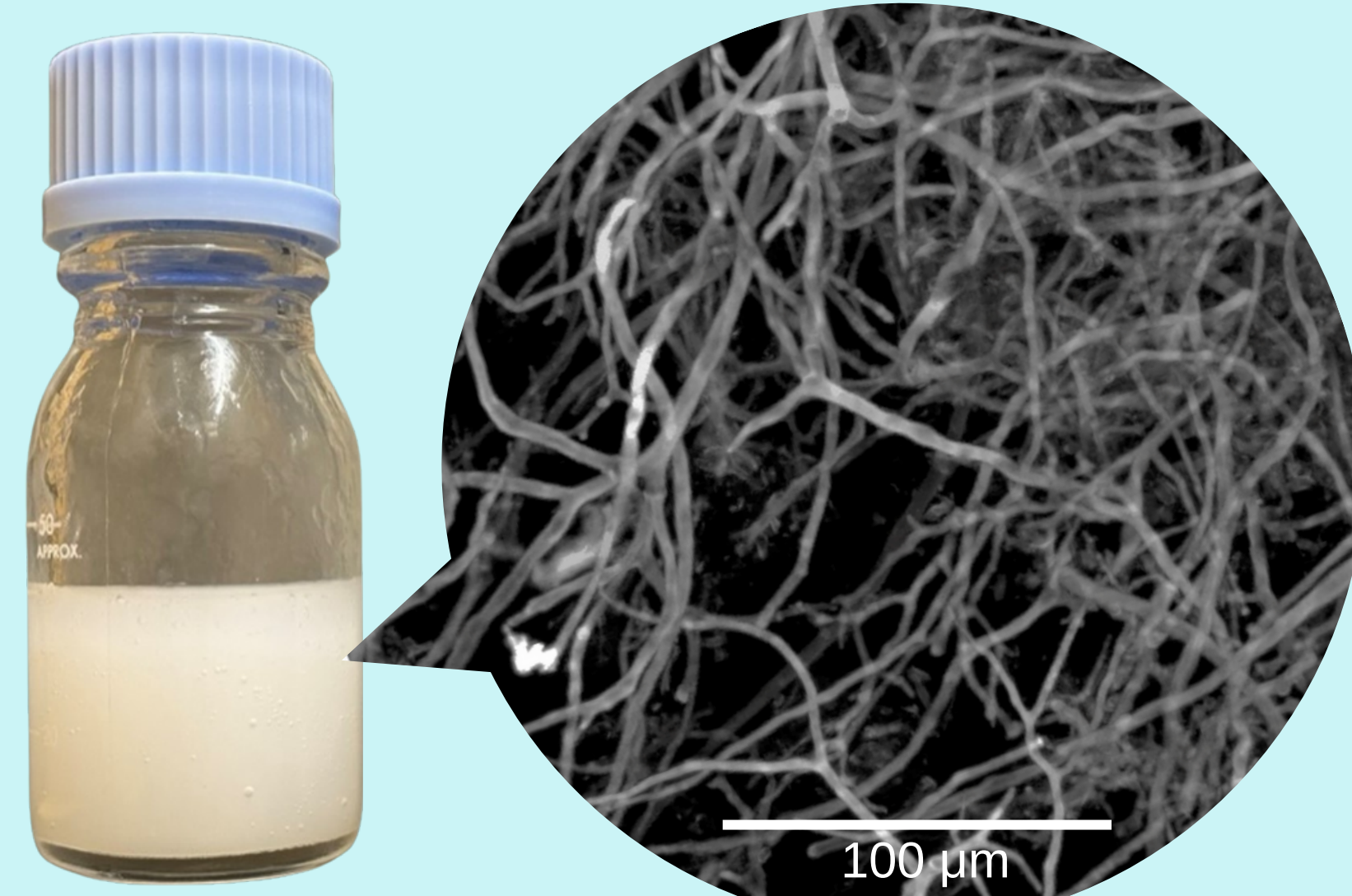
バイオエコノミー促進を目指したきのこのからの新材料創出

日本のきのこ生産量は世界第二位であり、食用としてだけでなく素材としても注目されています。私たちは、きのこ産業の未利用資源から調製可能な**白色菌糸パルプ**に着目し研究開発を行っています。

未利用資源

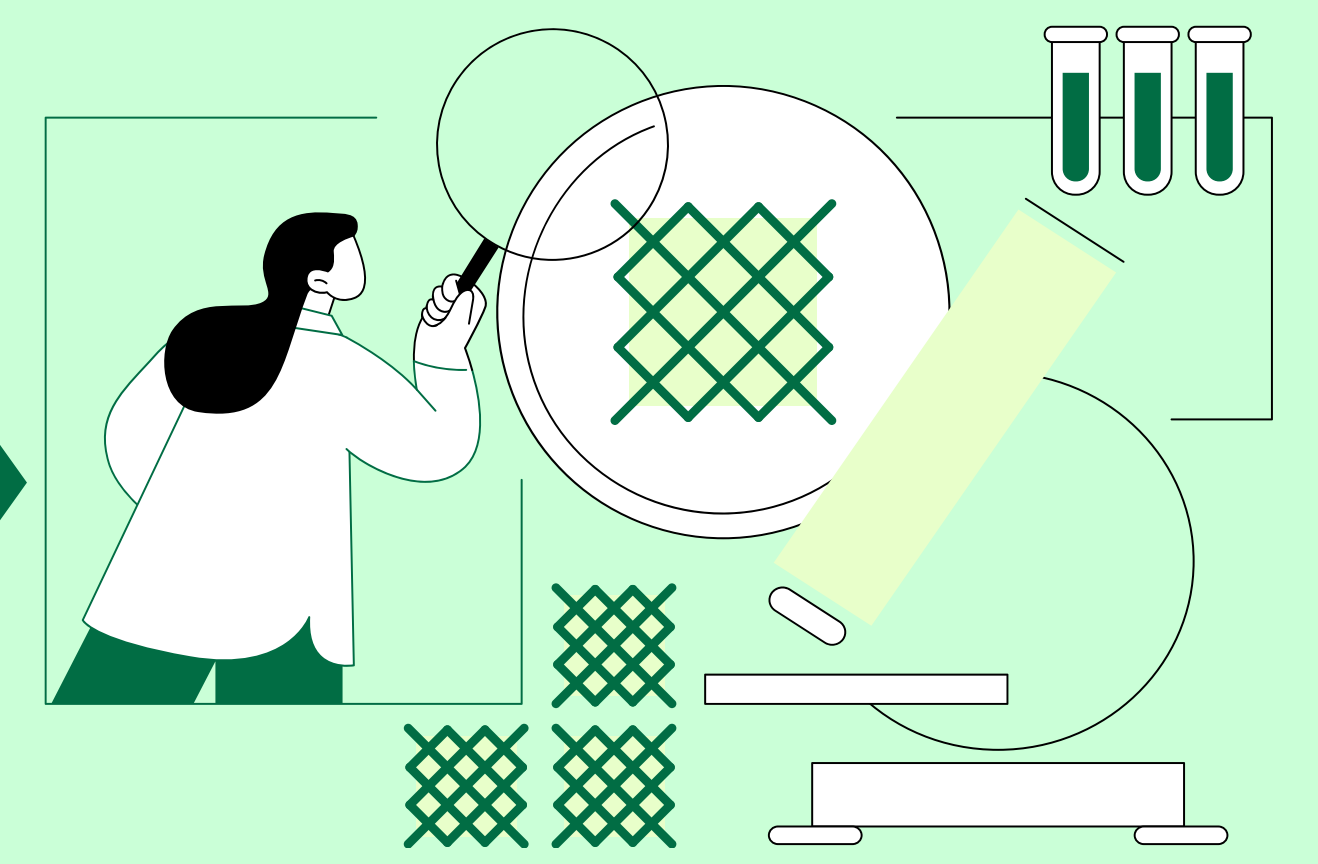


白色菌糸パルプ



きのこの子実体が菌糸レベルに解れた繊維材料です

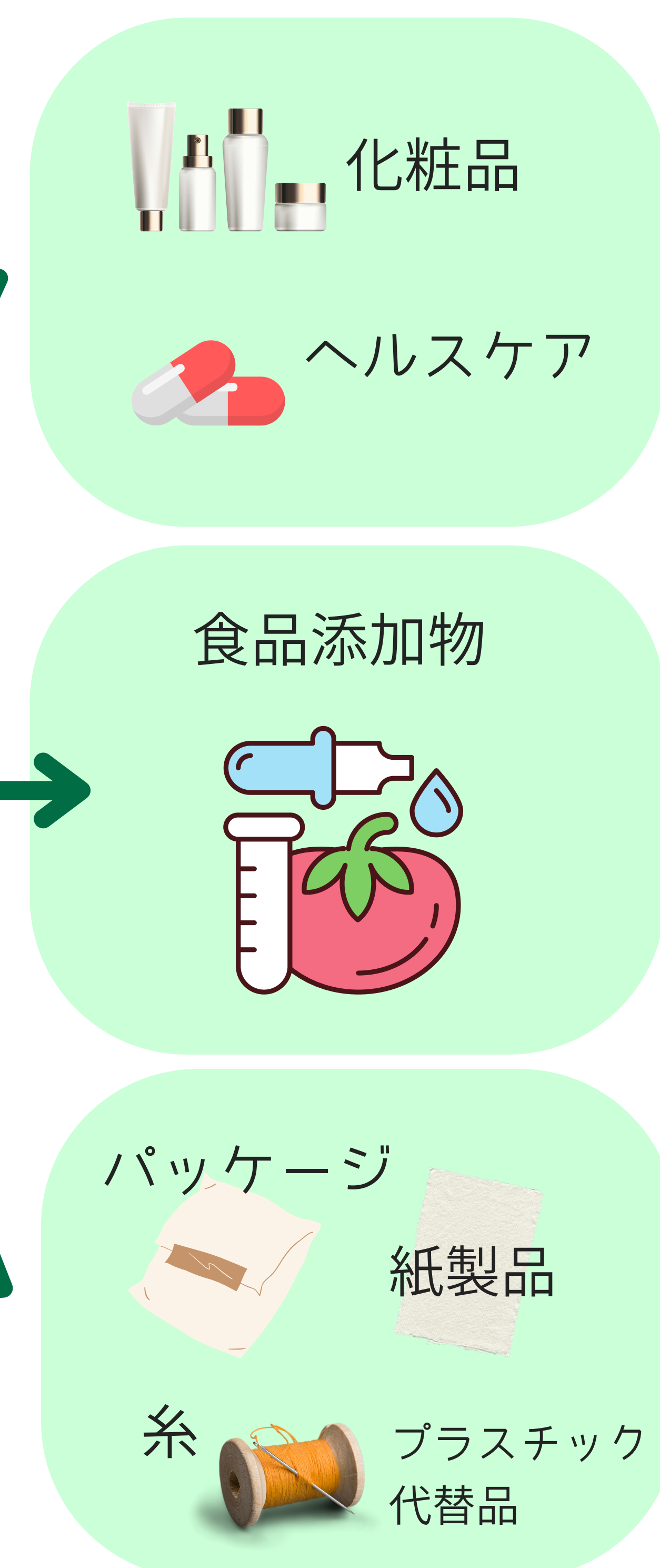
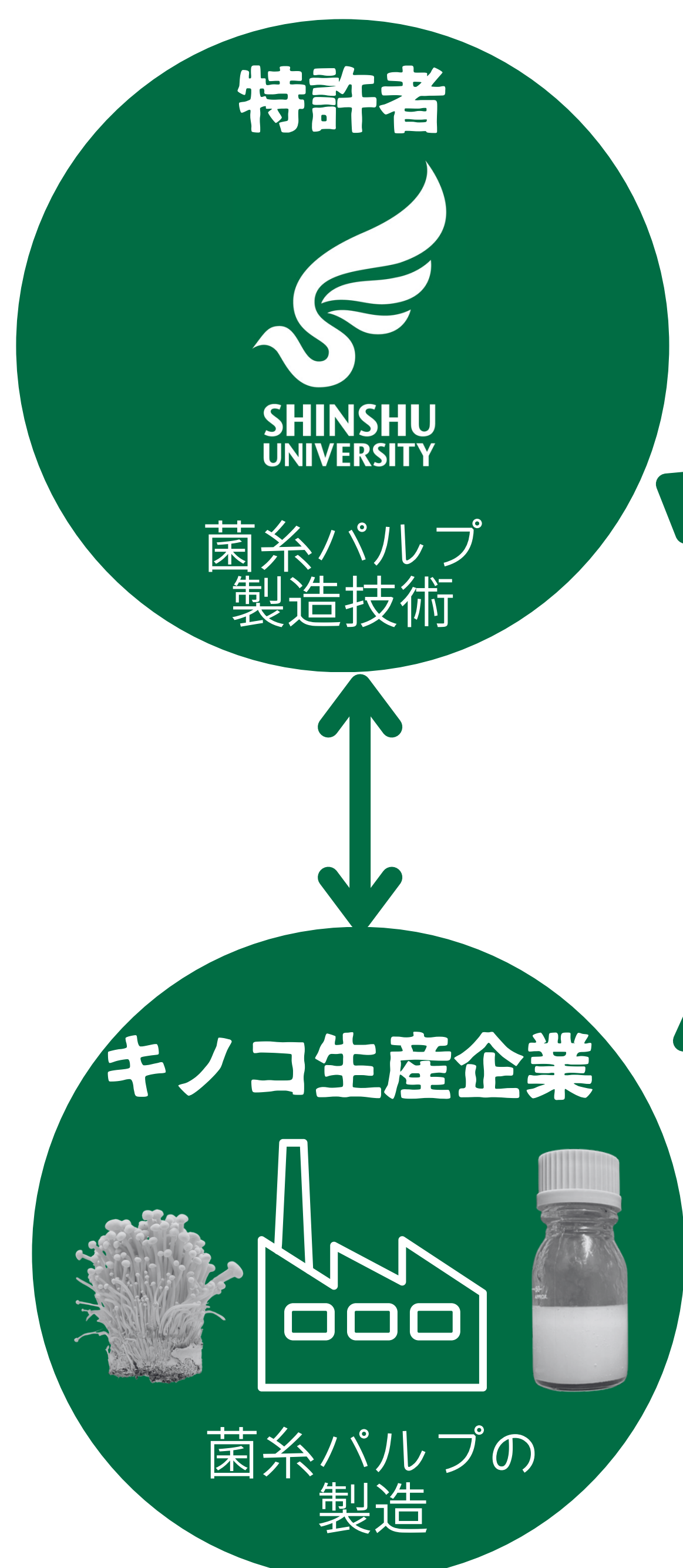
新材料開発



白色菌糸パルプは、石づきや廃菌床だけでなく、食用でない硬いキノコなど現在未利用の資源から調製可能です。成形性が良いことや、きのこの有用成分を保持していることから、様々な製品への応用可能です。例えば、テキスタイル、パッケージ、繊維、食品、化粧品など、多岐にわたる製品に応用されることが期待されています。

きのこ材料技術研究コンソーシアム

MYCOMATERIAL TECHNOLOGY CONSORTIUM



製品販売企業

バイオエコノミーの促進!

企業間連携の促進、製品開発の支援、共同研究の推進により、地域産業との連携を強化し、**日本独自のキノコ材料技術を確立、世界展開を果たすことを目指しています。**

詳細はHPをご覧ください!

<https://mycomaterial.jp/>

【連絡先】きのこ材料技術研究コンソーシアム
tagawa_s@shinshu-u.ac.jp (田川聡美)

